

# 木工（3年選択）

青梅総合高校の演習林で育てた木材などを使って木工作品を作る授業です。今年度は、3年次生8名が受講しています。1学期は全員が同じ規定作品を作ることを通して基本的な技術を習得することを目指しています。本格的な木工機械も揃っていますが、1学期は下の写真の角ノミ盤を使うだけで、「のこぎり」「木槌」「ノミ」という基本的な道具を使いこなし、釘やネジを一本も使わずに作品を完成させます。

## 昨年度の1学期の授業風景から

### (1)部材の加工

#### ①ほぞ穴(凹の部分)をあける



角ノミ盤でほぞ穴をあける



15mm幅の刃で3回あける

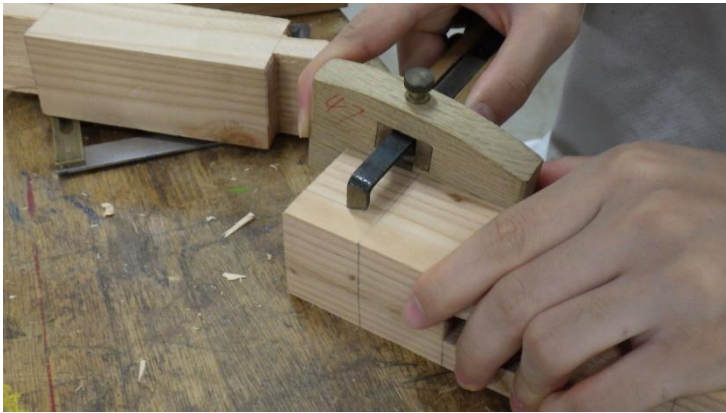


ノミと木槌<sup>きづち</sup>で仕上げ



6か所全て開け終わった

## ②ほぞ（凸の部分）の加工



ほぞの幅 15 mm に印をつける



印をつけた部分までノコギリで切り目を入れる



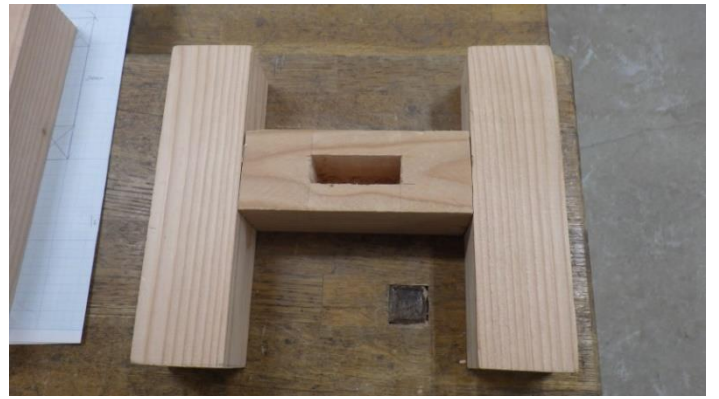
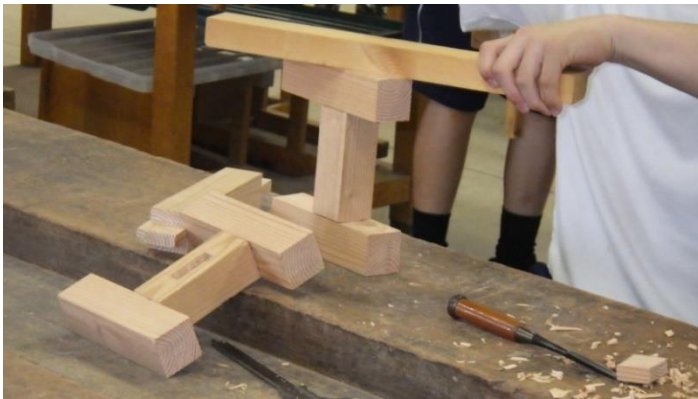
木目を見て割れる方向に注意しながらノミでほぞ<sup>ほ</sup>を彫り出して行く



最初は厚めに作り、ほぞ穴の大きさに合わせて慎重に削って行く



もう少しのところで入らない場合は木槌で叩いてほぞを薄くする（木殺し）

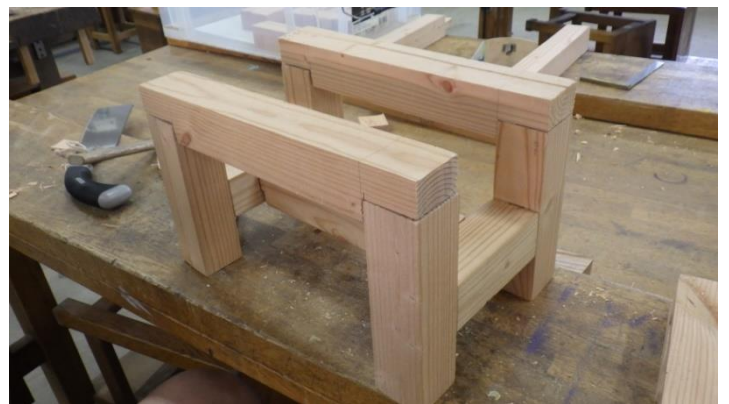


部材に傷をつけないようにあて木を挟んだ上から木槌で叩いてほぞをはめる

## （２）組み立て（釘やネジは１本も使わない）



４本の足を連結する



座面の板を載せる部分を作る



← この骨格に座面の板を加工しての載せ、四隅にボール盤という機械で丸い穴をあけて丸棒で台の部分に固定して完成。

**《釘などを使わずに固定した連結部分》**



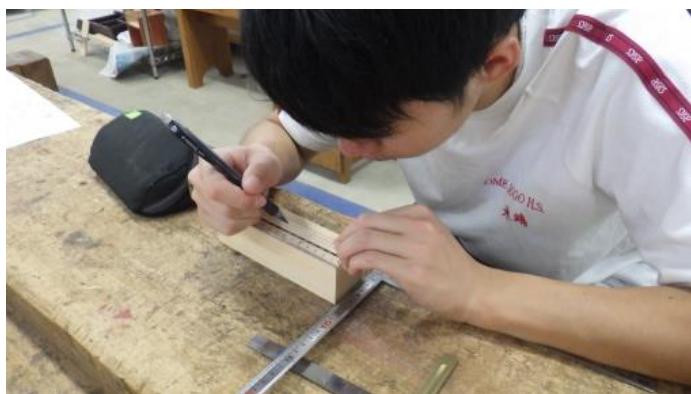
## 今年度の1学期の授業風景から

昨年度と同様の課題を1学期に取り組んでいますが、昨年度は、購入した杉（スギ）、松（マツ）を材料として使用していたのに対し、今年度は、青梅総合高校の演習林から切り出した檜（ヒノキ）を材料として使用しています。



← 規定課題の原寸大の設計図を描いているところ。

正確な部材の加工や組み立てをするためには構造をよく理解し、正確な寸法を把握しておくことが重要になります。



↑  
← 設計図を見ながら部材の加工のための墨付けをする



角ノミ盤でほぞ穴を開ける



ノミと木槌でほぞの部分の加工をする



←— ほぞ穴にほぞをあてはめてみる

最初は厚めに作り、ほぞ穴の大きさに合わせてほぞを慎重に削って行く

完成した1学期の作品は文化祭（青総祭）で展示する予定です。

## 2学期は自由作品を制作します

昨年度の自由作品より

自由作品① →



自由作品②



製作者



自由作品③



製作者



自由作品④



製作者



自由作品⑤



製作者



自由作品⑥



製作者

